

第 14 回須坂新校再編実施計画懇話会

日時：令和 5 年 12 月 25 日（月）

午後 6 時～7 時 30 分

会場：須坂市生涯学習センター 3 階 ホール

<次 第>

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

(1) 「第 13 回須坂新校再編実施計画懇話会」のまとめ

(2) 須坂新校施設整備事業について

- ・コンテナラリース・第一設計共同企業体より説明
- ・意見交換

(3) NSD部会について

4 その他

<次回の予定>

(1) 第 15 回須坂新校再編実施計画懇話会

(日時) 調整中

(会場) 調整中

(内容) NSDプロジェクト等、進捗状況の説明

5 閉 会

須坂新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	三木 正夫	須坂市 市長
2		新井 隆司	小布施町 副町長
3		藤沢 敏和	高山村 副村長
4		小林 雅彦	須坂市教育委員会 教育長 (座長)
5	産業界	春原 博	須坂商工会議所 専務理事
6		神戸 佳代	小布施町商工会 女性部長
7		久保 正直	アスザック株式会社 代表取締役社長
8	同窓会	浅井 洋子	須坂東高等学校同窓会 会長
9		霜田 剛	須坂創成高等学校同窓会 副会長
10	学識経験者	半田 志郎	国立大学法人信州大学工学部 特任教授
11	PTA	米山 宏貴	須坂東高等学校PTA 会長
12		柴田 弘彦	須坂創成高等学校PTA 会長
13		赤城 千恵美	上高井郡市PTA連合会 副会長
14	小中学校関係者	坪井 扶司夫	上高井校長会 代表 (墨坂中)
15		富沢 孝	上高井校長会 代表 (仁礼小)
16	地域	尾島 信久	長野地域振興局長
17		二ノ宮 邦彦	元 県立高等学校長
18		大宮 透	元 慶応SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター主任研究員
19	再編対象校	堀内 煌大	須坂東高等学校生徒会 会長
20		関 怜士	須坂東高等学校生徒会 副会長
21		山口 隼	須坂創成高等学校生徒会 会長
22		木村 友香	須坂創成高等学校生徒会 副会長
23		山田 純子	須坂東高等学校長
24		山岸 暢	須坂東高等学校 教諭
25		羽山 功	須坂創成高等学校長
26		市村 宣幸	須坂創成高等学校 教諭

事務局

須坂東高等学校		須坂創成高等学校		高校再編推進室	
宮下 由夫	教頭・副事務局長	宮川 敏晃	教頭・事務局長	柳澤 弘蔵	主幹指導主事
嶋田 順一		市村 宣幸		有坂 清明	主任指導主事 (須坂新校担当)
酒井 健次		柳澤 亘		井出 敦	主任指導主事 (須坂新校副担当)
山岸 暢		春原 真			
高坂 亨		河野 健一			

第 13 回 須坂新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日 時	令和 5 年 10 月 20 日 (金) 18 時 00 分～19 時 30 分		
場 所	須坂市生涯学習センター 3 階 ホール		
出 席 (敬称略)	三木 正夫, 新井 隆司, 藤沢 敏和, 小林 雅彦, 春原 博, 神戸 佳代, 浅井 洋子, 半田 志郎, 米山 宏貴, 柴田 弘彦, 赤城 千恵美, 坪井 扶司夫, 尾島 信久, 堀内 煌大, 関 怜士, 山口 隼, 木村 友香, 山田 純子, 山岸 暢, 羽山 功, 市村 宣幸 (以上 21 名)		
欠 席 (敬称略)	久保 正直, 霜田 剛, 富沢 孝, 二ノ宮 邦彦, 大宮 透	傍聴者	3 名
事務局	須坂東高校	宮下 教頭 (副事務局長), 嶋田 教諭, 酒井 教諭, 山岸 教諭, 高坂 教諭	
	須坂創成高校	宮川 教頭 (事務局長), 市村 教諭, 柳澤 教諭, 春原 教諭, 河野 教諭	
	県教育委員会	柳澤 主幹指導主事, 井出 主任指導主事, 有坂 主任指導主事, 小池 主査, 倉澤 主事	
当日資料	次第, 第 12 回須坂新校再編実施計画懇話会まとめ (案), NSDプロジェクトについて, NSDプロジェクトのスケジュール, 統合の方法について		

会議事項

- (1) 第 12 回須坂新校再編実施計画懇話会のまとめ (案)
- (2) NSDプロジェクトについての説明
- (3) 統合方法についての意見交換

構成員から出された主な意見(要旨) (⇒県教委回答)

<NSDプロジェクトについて>

○現在業者の選定が進んでいるが、新校について考慮したうえでプロポーザルに参加しているのか。

⇒実施要領の中で新校の目指すべき姿を提示してあり、設計者はそれを踏まえて提案している。

○来年の 6 月までに基本計画を策定することになっているが、教育課程の検討状況によって基本計画が左右されるのか。

⇒基本計画と教育課程編成は同時に進めていく。基本計画には影響ないと考えている。

<統合方法について>

○年次統合では須坂東の校地に残る生徒に後輩がいなくなってしまうなど生徒への影響が大きい。一方で令和 9 年度に両校合わせて 4 学級程度の減少となった場合、中学校の進路指導に大きな影響を与えると思う。

○ここまで学びについて徹底的に議論し、方向性が出ているので、産業界としてはできるだけ早く統合してその学びで生徒を育てたい。その意味で一斉統合が良い。

○保護者とするとも年次統合によって学校がなくなるところに自分の子どもを入学させたくない。

○一斉統合が良いと感じる。しかし、ある理念の学校に入学したのに、違う理念の学校に転校して卒業するというのは違和感がある。入学した時点で新校の理念に沿ったカリキュラムを履修するという形が一番良い。

○生徒の一人として、部活動や生徒会での先輩後輩の仲というのは高校生活でも特別なものとする。年次統合ではその先輩後輩の関係がなくなってしまうので、一斉統合のほうが良い。

【座長まとめ】 今回の懇話会では、一斉統合という意見が多数であった。県教委としてはこの意見を踏まえてどのように考えていくか。

⇒持ち帰って改めて検討し、どのような方向で進めていくか次回以降の懇話会でお示しをしたい。

その他

【次回】第 14 回懇話会

日程：令和 6 年 1 月～2 月の実施を予定

内容：NSDプロジェクトについて進捗状況を説明

第14回 須坂新校再編実施計画懇話会

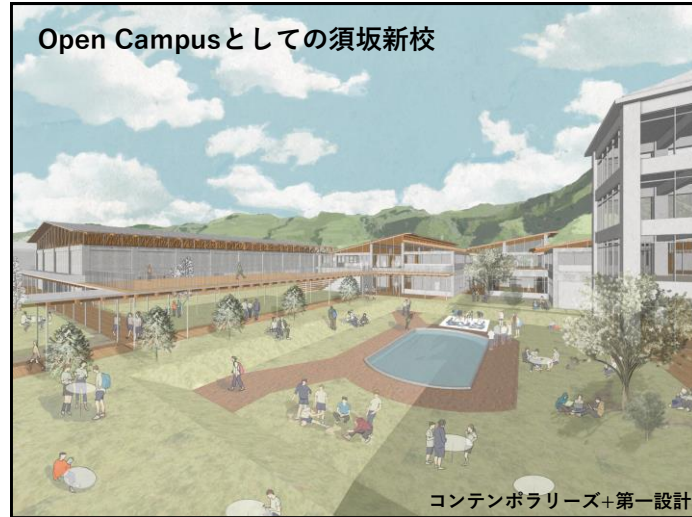


「Open Campus」としての須坂新校

コンテンポラリーズ+第一設計 共同企業体

2023年12月25日(月) 18:00~19:30

須坂市生涯学習センター 3階ホール



1

Open Campusとしての須坂新校

①敷地条件等への建築的アプローチ

<3つのコンセプト>

①融合と化学反応
4つの異なる分野(みらいデザイン科、農業科、商業科、工業科)の**融合と共創と協働、かつ学年を超えた活動ができる環境**を育むこと。

②学校づくり=まちづくり
地域(周辺企業、商店街、住民、農家、NPO法人など)と学校の**日常的なコラボレーション**および交流の促進、**まちづくり**として**学生が街中に出ていく仕組み**の創造。

③須坂の風景としての新校
既存の庭、樹木、地形を活かした、**大きなランドスケープ**としての学校計画。風土・気候など、須坂の自然を満遍なく享受し、**オープンキャンパス**としての新しい高校像。

2

須坂カリキュラム

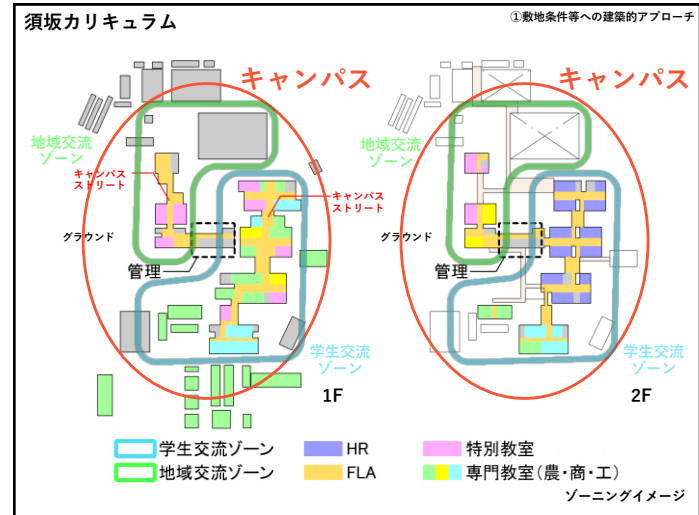
①敷地条件等への建築的アプローチ

	普通科				商業科				工業科				農業科			
	月	火	水	木	月	火	水	木	月	火	水	木	月	火	水	木
1年	1	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	2	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	3	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	4	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	5	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	6	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
2年	1	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	2	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	3	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	4	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	5	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	6	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
3年	1	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	2	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	3	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	4	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	5	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR
	6	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR	HR

使用クラス(想定)
 ■ HR
 ■ 特別教室
 ■ 専門教室

須坂新校 時間割
 (参照:実施要項-資料5想定時間割)

3



4



5



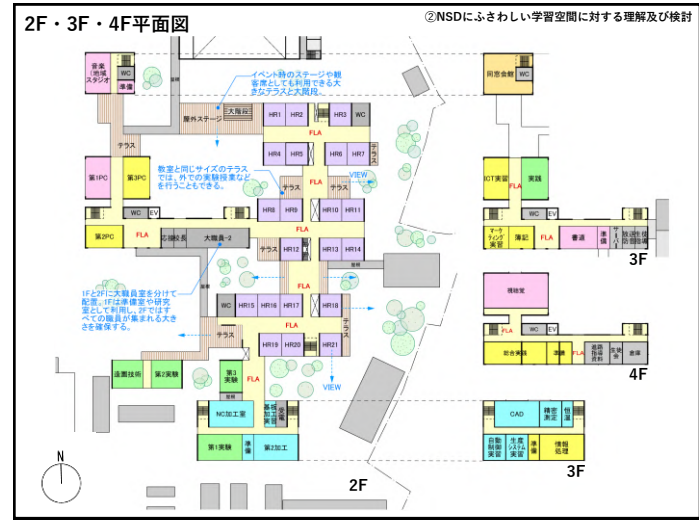
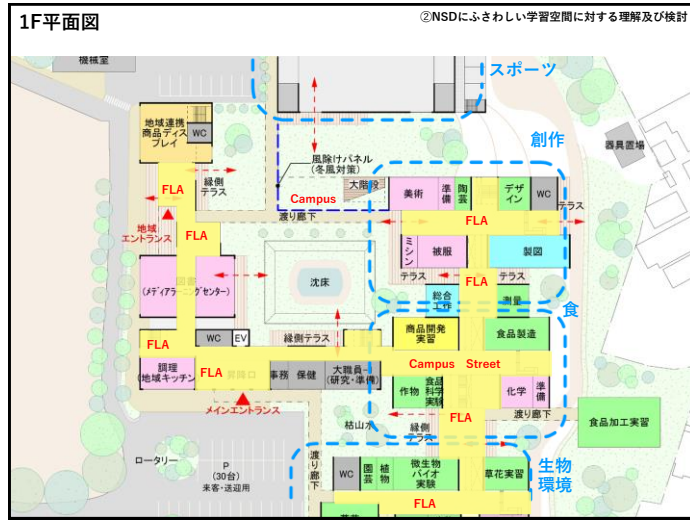
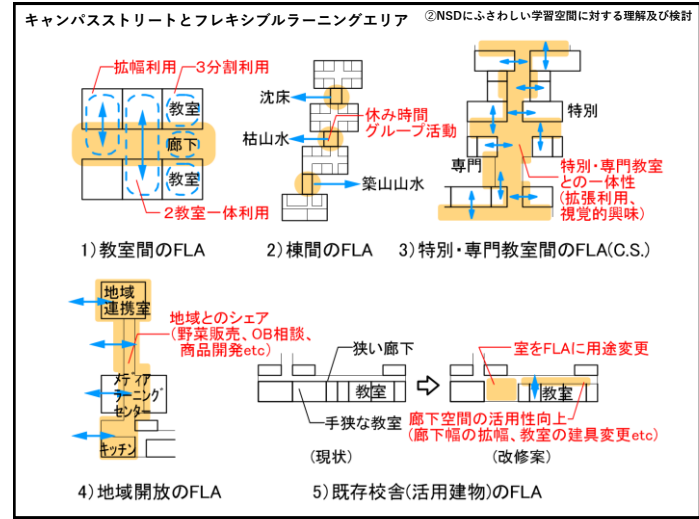
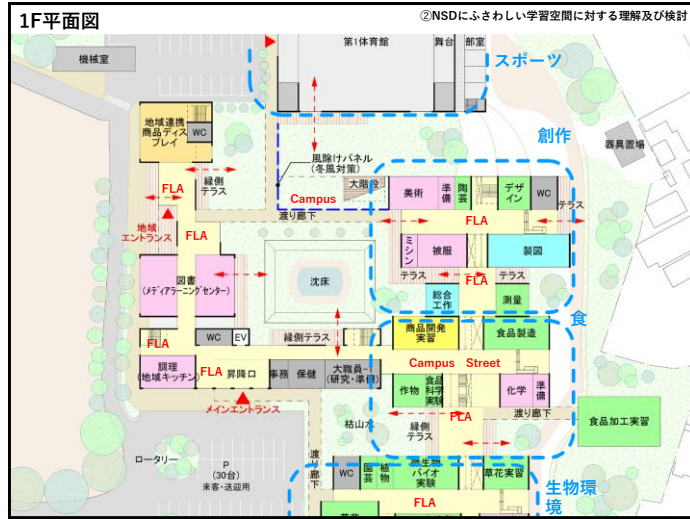
6

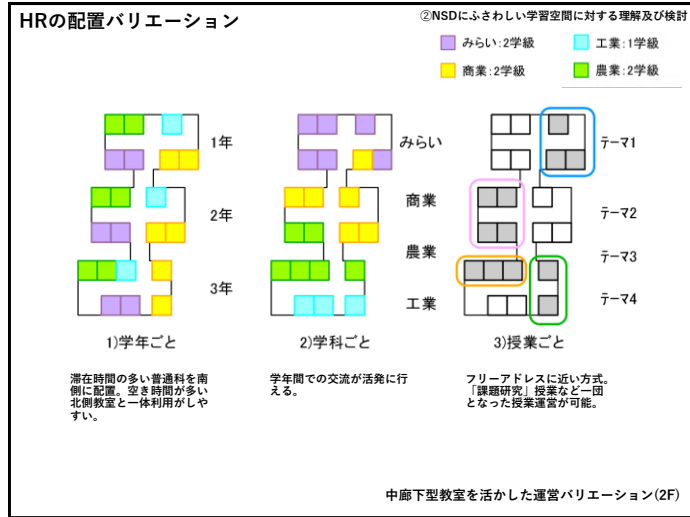


7



8

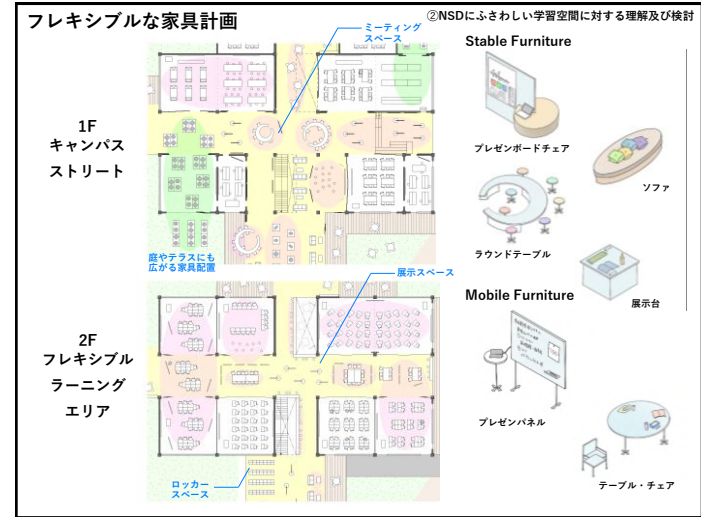




17



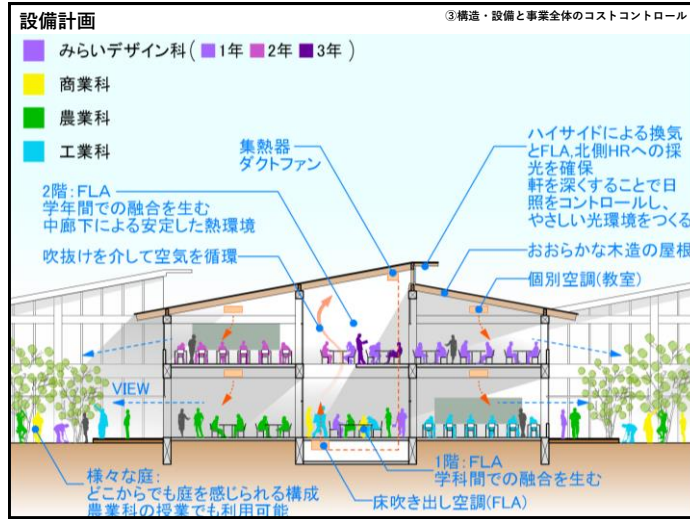
19



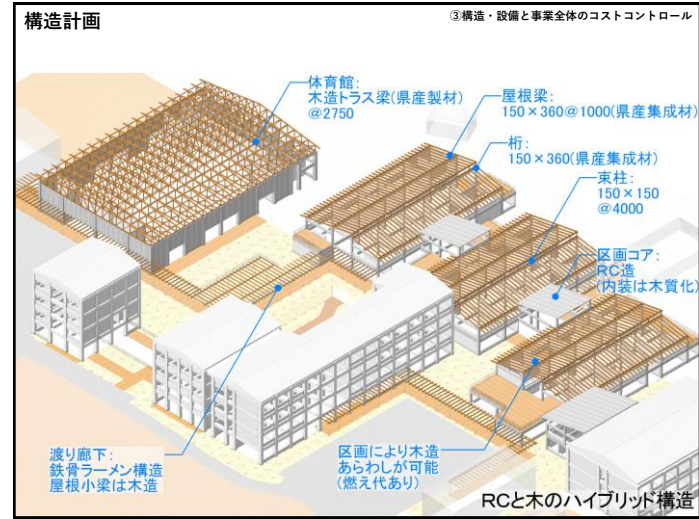
18



20



25



26



27

コストコントロール

③ 構造・設備と事業全体のコストコントロール

イニシャルコスト抑制	ランニングコスト抑制
<ul style="list-style-type: none"> ・既存校舎との位置をずらした配置計画(既存校舎の解体費抑制、地中残存物のリスク低減) ・重ね使い空間の可能性の検討(面積縮小) ・埋戻し等による敷地内の残土利用(土工事費削減) ・ピット空間の最小化(土工、躯体費削減) ・屋根の木造化による躯体の軽量化(杭費用抑制、工期短縮) ・県産流通製材、一般流通材及び汎用材の採用と標準的な建設工法の採用(施工者の競争性) ・早期の地盤調査による最適な基礎形状の提案 ・仮設校舎を最小化する配置計画(仮設費用抑制) ・既存の高低差を活かし、2階建てとした断面計画(躯体費削減、工期短縮) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コストに見合った高対候性、高耐久性の材料選定(建物の長寿命化) ・適切な設備スペースの確保と高効率機器の採用(修繕更新費の削減) ・ラーメン構造を基本とした単純な構造計画による空間のフレキシビリティを確保(社会的耐用年数の向上) ・清掃や交換が容易な仕上げ材の選定と施設メンテナンスに生徒や地域も参加できる協働プログラムの創出(維持管理費抑制) ・採光、通風、太陽光発電、中水利用など再生可能エネルギーの活用(光熱費の削減) ・夏場の西南西の風を校舎内に効率よく取り込むことができる建物配置(空調費削減)

28



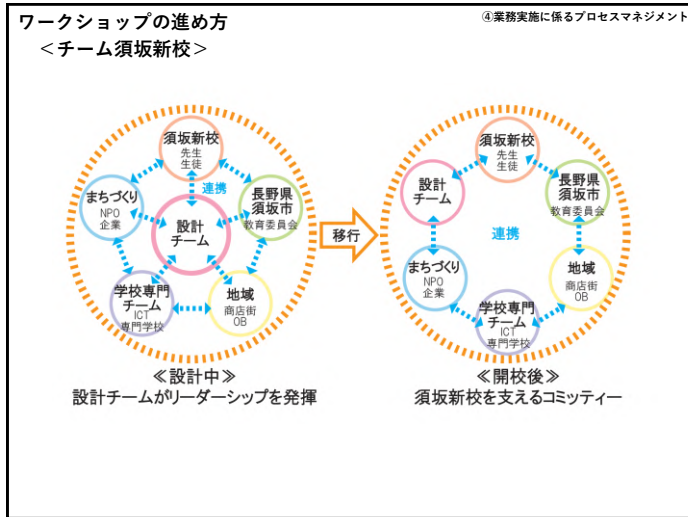
33

設計チーム編成

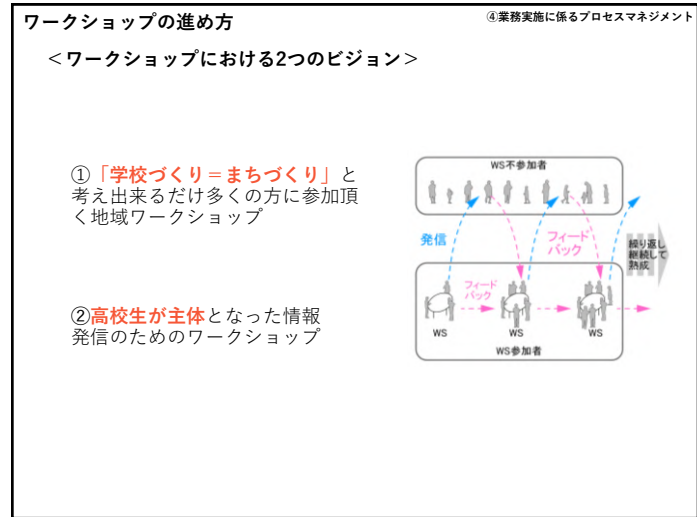
④業務実施に係るプロセスマネジメント

意匠統括 コンテンツボラリーズ 学校建築から病院まで多種多様な公共建築の実績が豊富。設計及び地域ワークショップを通じて、住民の意見を反映させたプランニングづくりが可能です。	構造 ASA/鈴木啓 長野県塩田市えんばーなど公共建築の実績が豊富。経済性に配慮しつつ、設計理念をより高いレベルで優れた建築デザインへ昇華、結実させます。	家具デザイン/サインデザイン 寺田平手設計 長野県塩田市えんばー(旧田舎)など公共建築の実績が豊富。機能・美観の実績もあり、新しい形の空間づくりやさまざまな建築空間の中で実現することが得意です。
第一設計 地元長野県内での公共建築の実績が豊富。計画に精通する。地元の建築士に精通した設計が可能。地の利を活かして設計から竣工後まで迅速な対応が可能です。	設備・環境 ZO設計室/柿沼整三 長野県小諸小学校用舎が学校建築をはじめ公共建築の実績が豊富。確かな知識と豊富な経験より地元業者の実績風土に配慮した環境をご提案いたします。	まちづくりデザイン SCOP 長野県内外に渡って、まちづくりカーブス作成やワークショップファシリテーションの経験豊富。学校づくりの機会をまちづくりにつなげます。
学校建築計画 倉斗綾子/ 千原工業大学 商工工学部 デザイン科学科 教授 隣町高田市立高田東中学校など多くの学校建築に携わる。学校計画の専門家として豊富な経験をもつ。計画のみならずまちづくりまで実施した例を一通覧します。	ランドスケープ(外構) ヒュマス/高沖哉 岩手県釜石市の豊井小中学校外構デザイン携帯など公共建築の実績が豊富。地域特性やコミュニティの風土にランドスケープ計画を企画づけ、併せて変えられる空間を実現します。	インキュベーションリーダー 地域のみなさん 道場のまちのプロフェッショナル。様々なWSに参加していただき、これからのまちづくりの主人公になっていただきます。

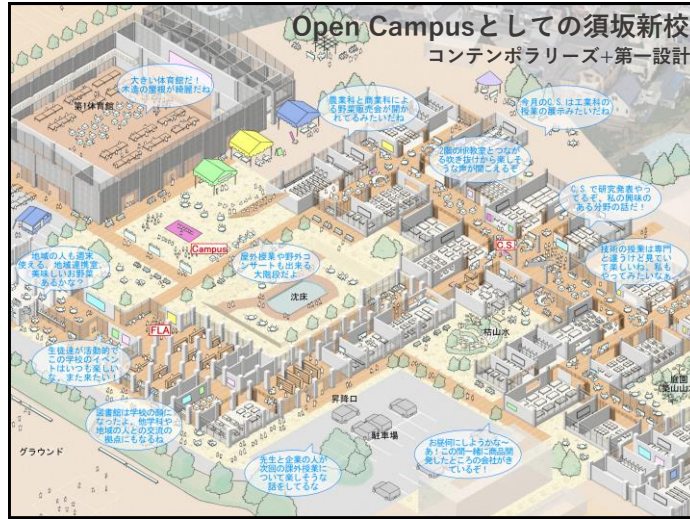
34



35



36



37

	令和5年度				令和6年度			
	2023年		2024年		2023年		2024年	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
懇話会		●				●		●
他NSDプロジェクト 合同MTG			●		●		●	●
ワークショップ		● 【新しい学校について】 ・計画案の説明 ・対話型	● 【生徒と先生で 学科融合,FLAを考える】 ・模型、図面で考える		● 【地域と学校と一体となって考える】 ・生徒、先生、地域で混ざって ディスカッション ・まちのガーデニング	● 【FLAの活用】 ・ショッピングモールパルム などでFLAの使い方を考える		● 【これからの新校】 ・WSを経て変わったところの説明 ・この先どうなっていきたいか
外部有識者 レビュー				●		●		
シンポジウム					●			●
住民説明会					●			●
懇話会のための基本計画 策定に係る資料作成,出席		●		●			●	
委託者との打合せ	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	ファミリーーターの育成 信州大学などの大学生参加の呼びかけ							